S.COAT No.2000　HNクリヤー

（速乾無希釈型タイプ　4:1）

1. 製品の特徴

（4類第2石油類　荷姿 16L　2007年上市）

1）標準タイプの速乾無希釈型クリヤー。短時間の焼付で硬化し、仕上りが良い。
2）磨き性も良好で、作業効率がよい。
3）タレ（流れ）、ワキ（アワ）、モドリ（色の変化）が発生しにくい。
4）加熱残分 40.1%　VOC 削減率 40.3%（HX クリヤー比）
5）実車塗装実績 400 万台。促進耐候性試験合格。

2. クリヤー、硬化剤、シンナーの配合量と希釈塗料の可使時間

混合比率（重量比率）			希釈塗料の可使時間 (時間)		
クリヤー	硬化剤	シンナー*	10℃	20℃	30℃
100	25	0 ～ 15	4	2	0.5

＊シンナー希釈量は推奨量であり、気温・塗装面積により調整してください。

3. 乾燥時間

	乾　燥　温　度（℃）			
	10℃	20℃	30℃	60℃
指　触　乾　燥	10 分	7 分	5 分	—
強制乾燥前セッティング	1 ～ 5 分	1 ～ 5 分	3 ～ 5 分	—
コンパウンド研ぎ可能	8 時間	5 時間	3 時間	15 分
屋　外　放　置　可　能	不可	24 時間	16 時間	20 分
ガ　ソ　リ　ン　O　K	不可	72 時間	48 時間	60 分
再　塗　装　可　能　時　間	—	—	—	60 分
完　全　硬　化	—	7 日	—	80 分

※膜厚、塗装面積、諸条件により乾燥時間は若干変わります。（標準膜厚30～50μ）

4. 硬化剤の気温による選択基準（HNクリヤー単独で1年間通じて使用する場合）

硬　化　剤　名	塗　装　温　度（℃）			
	5	15	25	35
速　乾	○	△	×	×
標　準	○	○	△	×
遅　乾	△	○	○	△
超　遅　乾	×	△	○	○

※冬場は超速乾や速乾シンナー、春秋は標準シンナー、夏場は遅乾や超遅乾シンナーを使用してください。塗装回数は2～3回。
　ボカシ塗装は残りのクリヤーに1回目シンナーを30～50%、2回目さらにシンナーを50%添加し2段ボカシで行う。
※塗装の動画をYouTubeで公開しています。

5. 冬場は作業性を夏場は仕上がり性を希望される場合（TN クリヤーとの併用）

製　品　名		適正温度範囲 (℃)			備　考
		硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾	
冬	HN	5 ～ 15	10 ～ 15	—	5℃以下では硬化促進剤の利用も検討下さい。
春・秋	HN / TN	—	15 ～ 25	—	HN / TN の併用あるいは混合で使用下さい。
夏	TN	—	20 ～ 30	25 ～ 40	夏場は遅いシンナーを利用下さい。

※HNとTNクリヤーの併用あるいはブレンド(混合)で季節に合わせた使用方法を行ってください。
※高級車にはFTⅢ等のクリヤーの併用もおすすめします。